

「凝固異常症の鑑別に役立つ凝固波形解析パラメータの検討」に関する研究について

公益財団法人天理よろづ相談所病院臨床検査部では2022年10月から2027年9月までの期間に凝固線溶検査を受けられた患者さんの残余検体を用いて研究を実施しております。本研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております「問い合わせ窓口」にご連絡ください。

□研究名

「凝固異常症の鑑別に役立つ凝固波形解析パラメータの検討」

□研究背景・目的

プロトロンビン時間 (PT) および活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT) は、凝固異常を察知する検査として広く用いられているが、その値のみで凝固異常症の病態を鑑別することは難しく、簡易かつ迅速な鑑別法が求められています。

凝固波形解析 (CWA) は、血液凝固分析装置を用いた PT、APTT 検査の反応機構で描出される凝固反応曲線を一次微分、さらに二次微分することで速度、加速度の変化を認識できます。そのため、簡易、迅速かつ汎用性が高い解析ツールであり、近年注目されています。

本研究は、凝固異常症の鑑別に役立ち、障害の程度を評価しうる PT、APTT 測定による CWA パラメータを同定し、CWA の実用化を目的としています。

□取り扱う資料および診療情報

凝固線溶検査用に採血された残った検体(残余検体)を使用させていただきます。使用する診療情報は性別、年齢、基礎疾患、症状、薬剤です。

□個人情報保護の方法

使用する診療情報は連結可能匿名化(暗号化)した後、研究に利用します。

□倫理上配慮すべき事項

本研究は診療目的に採血された残余検体を用いるため、患者さんの負担になるような行為はありません。

本研究は(公財)天理よろづ相談所病院倫理審査委員会にて、研究に参加される方の安全性の確保、科学性に問題がないかについて倫理審査を受けており、承認を得て実施されています。

□研究成果の公表について

研究の成果を検査の向上・発展のため、学会に公表することがありますが、患者さんの残余検体および診療情報は連結可能匿名化(暗号化)されていますので、第三者・本研究担当者に患者さんの情報が明らかになることはありません。

□研究への残余検体および診療情報使用の取り止めについて

取り止めを希望される場合には、「問い合わせ窓口」にご連絡ください。希望を受けた場合、患者さんの血液および診療情報を本研究に用いません。取り止めることによる不利益はこうむりません。

□問い合わせ窓口

この研究についてのご質問は、

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 部長 上岡 樹生 連絡先 0743-63-5611
にお問い合わせください。

研究責任者

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 副技師長 下村 大樹

個人識別情報管理者

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 技師長 嶋田 昌司